



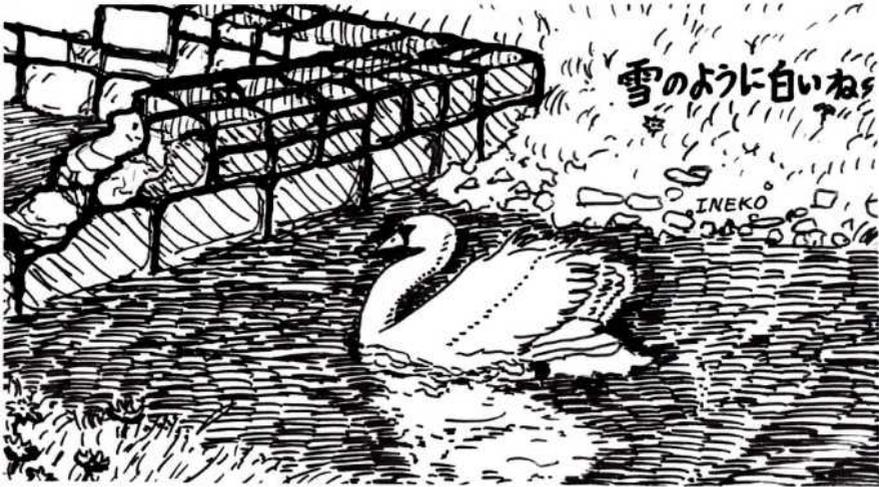
2003年 2月15日発行（隔月刊）



う 羽 化 か

2003年2月
第36号

横 浜 漢 点 字 羽 化 の 会
 〒231-0851 横浜市中区山元町2-105 Tel 045-641-1290
 発行責任者 代 表 岡 田 健 嗣
 編集責任者 宇田川 幸 子



目 次

連載「点字から識字までの距離」(33) (山内 薫)	1
東洋医学について (8)	4
漢点字のこと・視覚障害者への支援 (田中かほる)	7
点字の読みづらさと漢点字の触読について (岡田 健嗣)	9
ご報告と案内	15
漢文のページ	19
イラスト版「漢点字ってどんな字？」(34)	21
平野久美子と短歌鑑賞	27

点字から識字までの距離 (三三)

山内 薫 (墨田区立緑図書館)



マルチメディア・デイジーについて (二)

昨年十一月二十九日には同じくスウェーデンの国立録音点字図書館長のインガー・ベックマン・ヒルシユフェルト女史とアメリカのレコーディングフォーザブラインド&ディスレクシクスのジョージ・カーシャー氏の二人が「スウェーデンとアメリカにおける読みに障害のある人々への情報サービス」について講演を行った。

スウェーデンでは録音図書を借りる権利が、視覚障害者の他に知的障害者、失語症者、ディスレクシア、聴覚障害者、回復期の患者、行動障害者などに認められている。知的障害者には特別録音図書という「明確にゆっくりと発音された文章が音楽や効果音、人々の声、風景描写、語句の説明等と一緒に吹き込まれた」資料が作製されている。「特別録音図書は印刷された同じ本が手元にあることを前提として製作されており、録音者は挿絵を参照する指示を出したりページをめくる箇所を指示する。」また、読み書きが困難な生徒達の読書訓練用に学校で利用される「読書訓練用録

音図書」も作られており、こちらも原本図書と一緒に利用される。読書訓練用録音図書は、通常のスピード、それよりもゆっくり、そして特別ゆっくりと三種類のスピードで吹き込まれている。このため利用者はテープを聴くのと同時に文章を追うことが可能になり、読書に慣れ親しむようになるという。この読書訓練用録音図書による読書訓練の方法は、次のような手順で行われる。



一、録音図書を最後まで、または第一章のみ通常速度で聞く。

二、普通よりもゆっくりとした速度、または非常に遅い速度で聴きながら本の文章を目で追ってみる。

三、上記の方法で文章を何度か読む。

四、本を読み上げて自分のテープに吹き込む。

五、教師と生徒とがその吹き込みを一緒に聴き、生徒が読み間違えた箇所を見なおし、理解できていない言葉を学ぶ。

六、同じ文章をもう一度吹き込んで最初の吹き込みと比較し、進歩した点について話し合う。

七、順次同じ作業を繰り返す。生徒は同じ文章を何度も吹き込み、また教師の前で読み上げる。

この方法は教師と生徒が近くにおいて、協力して行うことを前提としており、教師は生徒が録音図書を聴いた

り自分で吹き込む時に十分な時間を与えなくてはならないとされている。おそらく先のスウェーデンの王女もこのような訓練によってディスレクシアを克服したのではないだろうか。さらに一九九六年からは録音された教科書が作られるようになったという。(以上は会場での講演というよりはインターネット上に公開されている「スウェーデンのディスレクシアに関する情報」による <http://www.dinf.ne.jp/doc/daisy> 参照)

一方自身が視覚障害者であるアメリカのジョージ・カーシャー氏は、RF B & D (Recording for the Blind & Dyslexic) のビル・マネージャーと、デジーの開発などに携わっている。RF B & D は一四八年に退役軍人に録音図書を提供する目的で設立された非営利団体で、一九五一年に法人化され、もともと視覚障害者を対象に教材などを録音して供給していたが、視覚障害者以外のディスレクシアの利用が増えたために、一九九五年に名称の中にD (Dyslexic) を加え現在に至っている。昨年提供した録音図書とデジー図書は二四万三千タイトルにのぼるが、利用者の七〇%がディスレクシアであったという。RF B & D は全米に三十二のスタジオを持ち、五三〇〇人のボランティアがあり、昨年一年間に新たに四一六〇タイトル、時間にしておよそ四〇万時間の録音を行った。日本の点

字図書館すべてが一年間に製作できる録音図書のタイトル数がおよそ一万タイトル余なので、いかに精神的な活動を展開しているかが分かる。

ところで二人の講演に先立って紹介されたアミというインターフェイスは、マルチメディア・デジー図書をタッチパネルやジョイスティックを使って操作するもので、現在開発が進められている。Ami Adaptive Multimedia Information System の頭文字をAMIS をフランス語風に読んだものである。アミでは画面上の機能アイコンを自動的に巡回させることによって、ボタン一つで目次を選んだり、音量を調節したり、文字の大きさを変えたりすることができる。ボタン一つの操作というだけで、身体のどこか一部分が機能すれば、どんなに重い障害があっても自分で本を読むことが可能になる。それは、瞬きであっても呼気であっても可能なので、まったく身体を動かすことのできない重度の障害者でも自立した読書が可能になる画期的なシステムということになる。読書という個人的な営為がこうして様々な障害を越えて自立してできるようになることは、本当にすばらしいことだと思う。

会場との質疑で、最近発表された「通常学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する

全国実態調査」のことが話題になった。文部科学省が昨年の二月から三月にかけて行ったこの調査は、全国五地域の公立小学校（一年から六年）及び



公立中学校（一年から三年）三七〇校、四三二八学級、四万人余を対象にした大規模なもので、その結果「知的発達に遅れないものの、学習面や行動面で著しい困難を持っている」と担任教師が回答した児童生徒の割合は六・三％である」と述べている。その内訳は「『聞く』『話す』『読む』『書く』『計算する』『推論する』に著しい困難を示す」（学習障害Ⅰ）が四・五％、「『不注意』又は『多動性Ⅰ衝動性』の問題を著しく示す」（注意欠陥／多動性障害Ⅰ ADHD）が二・五％、「『対人関係やこだわり等』の問題を著しく示す」（高機能自閉症）が〇・八％となっていて、性別では、男が八・九％、女が三・七％と倍以上男子に多い。（かっこ内の障害名は、この調査の判断基準として参考にされたアメリカ精神医学会のチェックリストにおける障害名）さらに領域別では「『聞く』又は『話す』に著しい困難を示す」が一・一％、「『読む』又は『書く』に著しい困難を示す」が二・五％、「『計算する』又は『推論する』に著しい困難を示す」が二・八％となっている。もしこれが事実で

あるとすれば、調査対象が全対象の二・五％であったので、全国の小中学校の普通学級に一〇万人を越す学習・行動困難児童生徒が存在することになる。この数は身体障害児の総数（平成十三年）八万一九〇〇人を上回る。（ちなみに視覚障害児の数は四八〇〇人）読むことと書くことに限定しても四万人以上となり、大変な数と言わねばならないだろう。

この連載の十八回と二十三回（『うか』二十一号、二十六号）で取りあげた『本が死ぬところ暴力が生まれるー電子メディア時代における人間性の崩壊』（パリー・サンダース著、杉本卓訳、新曜社、一九九八）に記述されていたように「今日アメリカの読み書きのレベルは急速に低下している。（中略）若者の九〇％は簡単な文章であれば読むことができる。しかし、その大多数は小学生レベル以上のテキストの理解が困難である」という状況が日本でも確実に進行していることが、この調査からも伺える。同調査の参考資料には「公立学校の生徒の約五％が学習障害を有すると同定されている」（アメリカ精神医学会 DSM-Ⅳ 一九九四）学習障害は「六〜十七歳で五・五九％」（アメリカ心 DEA 第二二回議会報告書、教育省 二〇〇〇）、注意欠陥／多動性障害（ADHD）の「有病率は、学齢期の子供で三〜五％と見積もられている。」（アメリ

カ精神医学会 D S M - Ⅱ 一九九四）などアメリカの状況が載っているが、こうした名称はともかくとして、今後「読むこと」の困難を抱える子どもの数は日本の社会でも急激に増加してゆくのではないかと予測される。そうした意味でも先のマルチメディア・デイジーは画期的な資料となる可能性を有しているだろう。読むことの困難を克服して、読むことの楽しみを享受できる人が増えていかなければ、出版も図書館も衰退していかざるを得ないし、文化というものも危機に直面するのではないかと思う。まさに識字の問題は私達にとって焦眉の課題ではないかと思われる。

（「今後の特別支援教育のあり方について（中間まとめ）」は文部科学省のホームページに掲載されています）



八 診断法



東洋医学の診断法を四診法といいます。これには、望診・聞診・問診・切診の四つがあります。各診察法

を現代医学と比較すると、望診は視診、聞診は一部が聴診、問診は問診、切診は触診に当たります。

西洋医学の診断は、病気の原因を調べるのが目的で、問診や聴診・打診・触診などの他、画像診断、生化学的・化学的検査など、種々の方法を用います。これに対し、東洋医学の診断は種々の治療法の中からの治療法を選ぶのかを決定する目的で行われ、主として施術者自らの感覚や患者に対する質問によって情報を得ています。言い換えると、西洋医学の診断は病名決定のために行われ、東洋医学の診断は、証決定のために行われます。西洋医学では、原因は分かったが治療のできないこともあります。東洋医学では、証に基づいて治療を行います。東洋医学が、随証療法といわれるのも、診断即治療といわれるのもこのように診断と治療が結びついているからです。

（一）望診

視覚で患者を観察する方法で、診査項目には次のようなものがあります。

ア 神気

精神・意識の状態のことで、その人が持っている全体的な勢いのようなものです。神気を失った状態を失神といい、現代用語でもよく使われています。

イ 五色

(二) 聞診

顔面や肘関節の前面（尺部）で五臓の状態を観察します。色つやの良い場合、予後が良好なので生色といい、色つやが悪いときは、予後不良なので、死色といいます。各臓器と五色との関係は次の通りです。肝は青、心は赤、脾は黄色、肺は白、腎は黒です。同じ青でも翡翠のように色つやがよいのは予後良で生色となり、草の絞り汁のように色つやの悪いものは予後不良で、死色となります。

ウ 五官

五臓の変動が現れる感覚器で、五根とも呼ばれます。肝は目、心は舌、脾は口、肺は鼻、腎は耳と関係があると考えられています。例えば、目が腫れているのは肝の変動、唇が荒れるのは脾の変動と考えられます。

エ 形態

骨は腎、皮膚は肺の状態を表し、肥満状態は脾に關係するといわれています。一般に肥満は実証、羸瘦（るいそう）は虚証といわれていますが、同じ肥満でも、脂肪太りは虚証に属します。

オ 舌診

舌の色や舌苔などを観察し、五臓の状態を調べる方法で、中国では盛んに行われていますが、わが国ではあまり用いられていません。

患者の声を聞いたり体臭などの臭いを観察することにより、陰陽・虚実や五臓の状態を判定するものです。一般に、声に艶と張り・力のあるものは陽証で予後良好、声に艶がなく、張り・力のないものは陰証で予後不良といわれています。

ア 五声

患者の口調、発声などの特徴から五臓の状態を判定します。五声は、呼、言、歌、哭、呻で、肝の変動では呼び叫ぶような話し方をし、脾の変動では歌うような話し方をし、肺の変動では哭くような話し方をします。なお、言の代わりに笑を心の変動の目安とする考え方もあります。

イ 五音

患者の声の高さ、発音の特徴から五臓の変動を判断します。発音の特徴では、肝はタ行、心はサ行、脾はア行とヤ行、肺はカ行、腎はマ行の発音に特徴があると言われています。

ウ 五香

患者の体臭、口臭、排泄物臭などの臭いをかぎ五臓の状態を判定します。

エ その他の音

せき（咳嗽）、くしゃみ（噴嚏：ふんてい）、しゃっくり（吃逆：きつぎやく）、ためいき（胎息）、うわごと（譫語：せんご）、あくび（欠伸）、おなら（転失気：てんしき）なども問診の対象となります。最後にありますが、おならについての落語を紹介させていただきます。

あるところに、強情な和尚さんがいました。ある時、少し風邪を引き、医者に診てもらいました。医者は「薬を飲めばすぐに治ります。ところで和尚さん転失気はありますか」と言いました。実は、和尚さんは転失気がか分からなかったのですが、その時は「ありません」と答えてしまいました。医者は、「それなら結構です」と言って帰ってしまいました。和尚は転失気の事が気になって仕方がありませんでした。そこで、小僧さんに「転失気を借りてきなさい」と命令しました。しかし、どこを探しても転失気はありませんでした。そこで、困った小僧さんは、医者薬をもらいに行くついでに転失気がかを聞いてみました。医者は「転失気はおならのことだ」と教えてくれました。小僧さんは和尚さんも本当は転失気がかが分



からないのだということに気が付いたので、一つからかってやろうと思いました。寺へ帰って和尚さんに薬を渡すと和尚さんは早速「転失気はなんのことだった？」と聞きました。小僧さんは、「転失気は杯のことです」と答えました。和尚さんは「そうだ、よく覚えておけ。これからお客さんが来たときには杯をもってこいという代わりに転失気をもってこいというから」といいました。翌日、医者に来て和尚さんを診察し、「もう風邪の方は治ったようです」と言って帰ろうとしました。和尚さんは、昨日小僧さんから聞いた転失気（杯）の話がたくて仕方ありませんでした。医者を引き留め転失気（杯）を見せようと思いました。医者はびっくりして、「医学ではおならのことを転失気というのですが、なぜお寺では杯のことを転失気というのですか」と聞きました。そこで初めてだまされたことを知った和尚さんですが強情な和尚さん「あまり（お酒を）過ぐすと檀家からブウブウがたまから」と答えました。

これが、落語の「転失気」のあらすじです。

個人的には小僧さんがこの後どうなったのか、少し気になります。おならは嫌なものですが、これも体の状態を示す貴重な情報源となっていることをご存じでしょう

か。昔の人は、おならの音や臭いによって体調を判断したといわれています。人前では遠慮しなければいけません、あまり我慢しすぎると再び腸から吸収され、肝臓に負担をかけることとなります。我慢せず、思いっきり出しましょう。

とんだところで脱線してしまいましたが、今回は診断の続きで、問診と切診について書きます。

左の文は、会員の田中かほるさんが、「退職婦人教職員

全国連絡協議会」の東京支部の機関誌に投稿されたものを、ご提供下さったものです。田中さんは、長く横浜市内の小学校で教えておられました。退職後本会をお知りになって、活動にご参加下さっておられます。現在、定期的には新聞の健康記事を月刊にまとめて、また不定期な入力・校正、その他多方面にご尽力いただいております。

漢点字のこと・視覚障害者への支援

横浜市 田中 かほる

新しい年になりました。少しは希望がもてる年になりますようにと願っております。



私は、退職して四年目（退職教ではヒヨコ？だとか…）日頃何一つお手伝いをせぬ名ばかりの会員です。と申しますのも「退職後は、目一杯三十八年もした教職とは違う世界の空気を吸いたい」と考えていました。只今は「羽化の会」という点字ボランティアの会に所属しております。幸い退職まで眼鏡をかけずにいましたので、点字ボランティアをしたとかねがね思っただけです。が、この会で学ぶまで重要な事を認識せず、ただ点字を…と考えていたのです。とうにご存知の方も多いかと思いますが話をさせて下さい。

重要なことと言うのは、「点字は一字一音のかな（平仮名・片仮名の別もない！では外来語の判別は？）で、漢字が全然ない」ということです。私達の日常は漢字だらけなのですが、普通は殆ど漢字など意識していません。でも、考えたり、話したり、文を読み書きする時は常に漢字の力を借りています。元々は中国の文字だったのを苦勞して日本語に使い、今では血となり肉となつているのでその有り難さを感じないのですね。当然同音異義語が多い（中国の音を表した文字ですし、和語とは違い母音だけでも大変数が多いそう…）ので、知らない言葉に出会ったり意味が分からなかったりすると、お互い「どんな漢字？」と聞いて理解を

深めています。

この漢字を、私達は自分自身長年かかって習得し、また子ども達にも教えてきました。漢字テストをたびたび行い、漢字星取り表・漢字マラソン?…などなど双方とも苦勞して結局は子ども達に覚えてもらいました。なぜかと言えば「普通の日本語の使い手」として漢字はどうしても必要なものだからです。昨年暮れ、新聞に書家の「漢字は日本人の大切なカルシウム。漢字書き取りは子ども達に必要です」という言葉が出ていました。つまり漢字を知らないということは日本語という言語の骨粗鬆症になってしまおうというわけです。好むと好まざるとに関わらず…。もし、漢字が使えなかったら、いかに不便か、理解も思考も作業もどんなに低次元になるか皆様もすぐ推量できると思います。

さて、そこです。視覚障害の方々には「漢字を知らない・習わない」のです!だから「漢字のない国に生まれたかった」と思う方が多いそうです。カルシウムがゼロでは言葉の骨粗鬆症になるのは当然です。大変な苦勞をして音だけで判断しているのですもの。

では漢字の点字はないのでしょうか? あったとしても教えないのでしょうか? この点についても私が知らなかったのですが、実は漢字を表す点字「漢点字」がもう三十数年前に発案されています(発案者その他は

紙数の関係で省略します)。実は前述した「羽化の会」は「漢点字羽化の会」というのが正式名。この会はパソコンで漢点字を入力でき、ボランティアの手でほとんど漢点字化した書物を図書館に納めています。その書たるやビックリするものばかり、文学作品を始め、昨年、私がお手伝いしたものの一部には、「唐詩選」や漢字学者・白川静著「字訓・字通・字統」の前書き(旧字体が山ほど出てくる字書の前書きでその数二〇〇頁)で、私など見向きもしない本が殆どです。そのレベルの高さには仰天です。しかし、これは漢点字があればこそ、読めればこそその話です。

この素晴らしい漢点字を、現在盲学校でも教えているのでしょうか? いいえ。聾学校の手話と同じように、全く教えていないのです。理由は様々のようですが…。

今から四、五年前、漢点字の会の方々が全国協議会を作り「盲学校に漢点字の導入を図る要請・小学校一年生からは非漢点字の教育を!」という署名を何万人分を集め当時の文部省他に出したはずですが、その後何の変化もないようです。視覚障害者の横のつながりはプライバシーなどの理由で(このこと事態私は不条理だと思っています)とても弱く作りにくいのが現状とか…。今や私達がやきもきしても結局は行政に動いても

らうしかなない段階になっています。

そこで、このような運動のきっかけになりそうな事柄をご存知ないか、また力になって頂ける方をご紹介頂けないか、さらにはせめて皆様に以上のような実情をご理解頂きたいと思ひ投稿致しました。どうぞよろしくお願ひします。



点字の読みづらさと

漢点字の触読について(二十)

横浜漢点字羽化の会 代表 岡田 健嗣

七 点字の漢字には二つの体系がある？ (承前)

「前々回・前回と、〈六点漢字〉について考えてみました。その特徴をまとめますと、

a. 従来のカナの点字と同じく、一マスが六つの点で構成される。

b. 通常使用される漢字の符号は、三つのマスで表される。

c. 点字符号の構成は、漢字の特徴を、日本語の読みである『音』と『訓』にとらえて、前置符号に続いて音と訓の頭の音のカナ点字一つずつを並べて表す。

d. その目的は、コンピュータのキーボードを点字のキーボードに見立てて、点字の符号を直接入力して、普通の漢字を出力することに置かれる。

e. 漢字仮名交じり文の触読は考慮されておらず、六点漢字のハード・コピーや電子データの書物は製作されていない。

以上のことから、何故に漢点字と並列に「二つの漢字の点字」と称されることになったか、またその真偽も含めて、今少し考えてみたいと思います。」

点字の漢字の二つの体系(続き)

② 漢点字と六点漢字「二つの点字の漢字」?

i 意味を表すために、口で言ったり字に書いたりするもの。語。言語。竹取「うち泣きて書く…は」。(略) / 物

ii の言いかた。口ぶり。語気。浄、凱陣八島「少し…の弱りたる折を見て」。(略) /

iii 言語による表現。古今序「その心あまりて…足らず」。(略) /

iv 言葉のあや。事実以上に誇張した表現。狂、箕被(みかずき)「塵を結んで言うたは…でござる」 /

v 文芸表現としての言語。詩歌、特に和歌など。「…の道」 /

vi 謡い物・語り物で、ふしのつかない部分。また、歌集などで、歌以外の散文の部分。 /

vii 物語などで、地の文に対して会話の部分。》
(広辞苑 第四版、電子ブック版、岩波書店)

《げんご【言語】／(漢音・ゲンギョ) /
i 音声または文字を手段として、人の思想・感情・意志を表現・伝達し、また理解する行為。また、その記号

体系。ことば。 / (ごんご) /
ii 「言」(langue フランス) ソシユールの用語で、ラングの訳語。》(同右)

《もじ【文字】 / 一名 /
i もんじ。字。「…を覚える」 /

ii ことば。文言。源花宴「聞きたがへたる…かな」 /
iii 字の音(おん)。徒然草「想夫恋(そうぶれん)といふ楽は、女、男を恋ふる故の名にはあらず。本は相府蓮(そうふれん)、…のかよるなり」 /

iv 仮名であらわされる字の数。すなわち音節数。古今序「歌の…も定まらず」 /

v 学問。文章。浮世床初「…の方へも入つて見る」 / (略) / 二 接尾物の名の頭字の下につけて、婉曲に表現する語。(略)》(同右)

《かんじ【漢字】 /

古代中国に発生した文字。現在中国・日本・朝鮮で使用。象形・指事から発達した表意文字で、表音的にも用いる。紀元前十数世紀の殷(いん)の時代にすでに用いられた。篆書(てんしよ)・隸書・楷書・草書等の字体があり、現代中国では多くの簡体字(略体)を用いる。わが国では一般に、「峠」「榭」「辻」等の、いわゆる国字を含めて漢字と称する。真名(まな)》(同右)

『広辞苑』から、長々と引用しました。「二つの点字の漢字」と称されるには、何らかの理由があつてのことと思われまふ。(漢点字)と(六点漢字)が、どうして融合したり和解したり歩み寄つたりしないのか、あるいはできないのか、その辺りを探訪してみる必要があるようです。そこで

先ず、幾つかの基本的な概念を得ておきたいと考えました。

【言葉】【言語】【文字】【漢字】について、『広辞苑』でどのように言っているか、見てみることにしました。【言葉】【言語】では、ものの表現・伝達や理解のための記号と方法、その中に、音声によるものと、文字によるものがある。【文字】【漢字】では、前者は書くもの・書かれるもの、読むもの・読まれるもので、言語の一分野。後者は、古代中国に始まった文字の一つ、中国、朝鮮、日本で使われているものである、とまとめられます。これらの理解から、〈漢点字〉と〈六点漢字〉とを比較検討して、視覚障害者の〈文字〉としての価値付けをしてみたいと思います。

〔以下、〈漢点字〉と〈六点漢字〉を対照します。〕

創案者のコンセプト

漢点字：元大阪府立盲学校で教えておられた故川上泰一先生がお作りになったものです。川上先生は、第二次大戦後同校に赴任されて、初めて視覚障害者の文字である点字に触れられて、日本語の表記に欠かせない〈漢字〉が存在しないことに驚かれました。それから二十年あまりをかけて、視覚障害者が触読できる漢字の点字〈漢点字〉を考へ出されたのでした。川上先生は、この〈漢点字〉をお考へになるとき、世界で初めて六つの点の〈点字〉を提出した

ルイ・ブライユの「読み得る触読文字」という構想を、この「漢字体系の点字」にも生かさなければならぬ、とお考へになったのでした。思考実験と試行錯誤を繰り返しながら、現在私たちが使用している〈漢点字〉の完成を見ることができたのでした。それを世に問われたのは、一九六九年のことでした。

六点漢字：創案者は、元筑波大附属盲学校の教諭であった、長谷川貞夫氏です。氏は、視覚障害者にとつても困難な、当時は不可能だった、独力で普通の文字を書けないものかと考へておられました。あるとき初期のコンピュータに触れる機会を得て、その機能の大きさと将来への可能性に魅了されたのでした。そこで氏は、コンピュータのキーボードを点字タイプライターのキーに見立てて、点字符号の入力方式で、普通の文字に変換できるソフトウェアの開発に着手されました。これが〈六点漢字〉の始まりです。

構 造

漢点字：川上先生は、点字であっても漢字を表す以上、普通の漢字の持つ特徴を、可能な限り生かさなければならぬとお考へになりました。すなわち、「形・音・義」と「六書」です。平たく言えば、漢字は幾つかのパーツによってできている組み立て文字である。そのパーツを〈部首〉と呼んでいる。しかもその部首は、最も基本的な文字

多くの読書が欠かせない」、「その読書は同時に、多くの知識と経験と思想をもたらす」。このようなお考えから、できるだけ多方面の書物を、漢点字訳なさろうとされました。今日、漢点字協会をはじめ本会を含めて、各地で点字訳のボランティア活動が盛んに行われるのも、このようなお考えが多くの皆様の支持を得ているからに他なりません。漢点字訳のボランティア活動が盛んに行われるのも、このようなお考えが多くの皆様の支持を得ているからに他なりません。

しかし先生のご尽力にもかかわらず、公教育機関、社会福祉機関では、未だ理解が行き届かないのが現状で、公の後ろ盾のない識字運動の例に漏れず、その普及は遅々として進まないのが現状です。

六点漢字：長谷川氏には、「漢字を触読する」というお考えはありません。「漢字は書ければよい」というものです。書くのはコンピュータでできて、読むのは音声（音訳者による音訳、あるいはコンピュータの音声ディスプレイによる読み上げ）で充分というものです。従って、（六点漢字）の学習用テキストを除いて、六点漢字で表記された書物の制作はありません。

しかし（六点漢字）は、パーソナル・コンピュータと音声ディスプレイの普及の広がりによつて、筑波大学附属盲学校関係者を中心に広く受け入れられています。

創案者の『識字』観

漢点字：川上先生は、我が国で視覚障害者のみが、国語教育を受けられず、文字文化に浴せない現状を不幸な事ととらえて、それを克服する方法として、この（漢点字）を完成されました。文字は、公教育によつて、初等教育の課程から、分け隔てなく学習されるべきもので、視覚障害者の識字も、触読用の漢字による教育なしには達成できないと、先生は説いておられました。そして私たち成人には、遅ればせながらも、読書に努めるよう繰り返しお勧めでした。

六点漢字：長谷川氏は、視覚障害者にとつて不可能事であった文字を「書く」方法さえ確立できれば、後は個人の努力で充分とお考えです。しかも（六点漢字）の教育も、公教育の課程で行う必要はないとも言っておられます。「視覚障害者の文字は、カナの点字で充分、教育の課程で一般の初等教育並の漢字教育を行うのは、児童・生徒の学習負担になって、他の学科の学習の遅れに繋がるだけだ。漢字は、力があり、余裕のある者が、独力で学習しても、一年もあれば習得できるものであるから、教育の現場で行う必要はない。まして、これまで視覚障害者には漢字がなかったのであつて、それでもさほどの不都合はなかったことを考えれば、これからもその必要はないのではない

か。」と言っておられます。

③「二つの点字の漢字」へまとめ

以上、川上先生のお考えは、私自身が漢点字を学んで、生前の先生から伺ったことを、私の言葉でまとめたものです。長谷川氏のお考えについては、氏ご自身の発言と、二〇〇〇年の七月に、漢点字を教育課程で取り上げていただきたいというお願いを持って、筑波大学附属盲学校をお訪ねした折りに、同校の先生からお伺いしたものをまとめました。

しかしながら改めて言う必要もないほどに、川上先生のお考えは、誠に良識的なもので、この良識に添った活動が、今日私たち漢点字使用者の心に共鳴し深く根ざしたに違いありません。

二〇〇〇年五月、私たちは当時の文部省をお訪ねして、「視覚障害者に漢字教育を」という陳情を行いました。大臣をはじめ直接の行政官を含めて何人もの方にお目にかかってお願いしたのですが、「二つの点字の漢字」の存在をご存じで、「互いの話し合いはないのか、二つの体系があるのでは、どちらと決めることはできない、先ず、当事者の話し合いから始めて欲しい。」とのお言葉を頂戴しました。

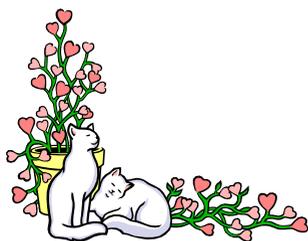
私はそれ以前に二度ほど、点字毎日の読者欄に漢点字の普及を訴える旨の投稿をした折り、漢点字使用者と六点漢字使用者との話し合いが必要なことを提案しました。が、残念ながら何処からもお応えをいただくことがありません。その後もそのような機会を得ることがありませんので、ここにもう一度、〈漢点字〉並びに〈六点漢字〉両者の話し合いをご提案させていただきます。

それが実現できるとして、予備的に、左の二つの要点を共通の課題として、共通の基盤に立つて行われることが必要と思われます。

A. 視覚障害者にとつての〈識字〉とは？

B. ノーマライゼーションの視点から見た視覚障害者教育の現状と展望。

「次回は、〈漢点字〉へ寄せられた疑問、質問にお答えします。」



ご報告とご案内

●新年会を行いました。

二〇〇三年一月十九日（日）、PM13:00から、例年の通り、横浜駅西口の、ホテル・リッチで、本会の新年会を行いました。二十九名の方が、ご参集下さいました。そのうち視覚障害者は、四名でした。

本会の活動の充実と、より広い漢点字の普及、とりわけ【視覚障害者の識字】の観点からの社会の認知を祈念して、和やかに、また賑やかに行われました。

東京都からお出でいただきました、利用者の田中秀臣さまの音頭で乾杯を行い、出席者全員の自



き
己紹介、歓談、くじ引きなどを交えて、二時間をあつという間に過ぎしてしまいました。

市会議員の大滝正夫先生も駆けつけて下さり、激励のお言葉を頂戴しました。

今年は、横浜市のご後援をいただく予定もあつて、これまで以上に心を引き締めて活動しなければ



ばないことを実感した次第です
来年も日程を立てております。二〇〇四年一月十八日（日）、会員外の方も大歓迎です。

● 東京都図書館職員研修会に
招かれて、お話をして参りました。

二〇〇三年二月四日（火）、東京都の図書館員の研修会が催されて、岡田と木下が赴いて、お話をさせていただきますました。
内容は左の通りです。



* 識字について。

* 日本語と漢字について

* 点字の考案↓ルイ

・ ブライユの点

字、遅々として進

まなかつた普及と

その理由。

* 日本語点字↓カナ

だけの点字の成立

と捨て去られた漢

字。

* 漢点字の誕生↓川

上泰一先生。読み



易い、触読
文字として
の（漢点
字）。

* 漢点字の普
及の現状↓
公教育によ
る視覚障害
者（児）へ
の漢字教育
は、考慮の
外である。
* 漢点字の紹
介↓第一基
本文字と部
首の組み立
て。

漢点字符号の構成。

* 本会の活動のあらまし↓コンピューターによるテキスト・ファイルの作成、変換・編集・印刷ソフトウェア、EIBRWの実践。

* 今、図書館へ望むこと。

以上、一三〇名を超える方々にお聞きいただき
ました。慣れない話でしたので、関心を持ち続け
ていただけますか、やや心許ないものを感じはし
ましたが、お聞きいただいたことには、深く感謝
申し上げます。残念だったことは、四名いらっし
やるとお聞きしていた視覚障害者の職員の方は、
一名もお越しになられなかったことです。果たせ
なかつたことですが、可能であれば、視覚障害者
への読書のサービスを業務とされている、しかも
ご自身も視覚障害者である職員の方と、視覚障害
者の〈識字〉について、意見の交換をしたいもの
と願っておりまして。今後もそのような機会を得
ることを、希望して止みません。

パソコンユーザー関連三つ



- a. 漢字変換用FEP、ATOK15のユーザー辞書に、
漢点字符号直接入力（符号をカナ読みし
て、ローマ字入力する方法）を登録しまし
た。

また同様に、例のように、漢点字を含む点
字のパターンを、ユーザー辞書に登録しま

した。ユーザー辞書そのものあるいはその
データを、差し上げます。
なお、点字のパターンを画面やプリント・
アウトする場合は、点字表示用のデータ、
『TBGA1J.TTE』か『TCGA1J.TTE』を登録し
ておく必要があります。

例 横浜漢点字羽化の会



これらのデータは、漢字を一文字一文字打
ち込む時、点字のパターンを表示する時、
大変重宝しております。

- b. TEXTTEXTをお分けします。

このソフトウェアは、画面上で漢点字のパ
ターンを調べたり、説明したりする時、大
変有効です。

立ち上げた後、普通に文字を入力していた
だけ、該当の文字と漢点字符号が、画面

に表示されます。晴眼者の方が、漢点字使用者の視覚障害者に、漢点字で手紙を書く時などには、打って付けです。その他、講習会などで、漢点字の説明をする時など、多方面に役立てていただけるものと存じます。

c. シリアル・ポートのないコンピュータが増えていきます。

昨今シリアル・ポートは、過去のものになって来ました。市販の機器は、ほとんどがUSBポートに接続するようになって来ています。

しかし視覚障害者の使用する機器は、まだシリアル・ポートに接続するものがあります。そこで、USBポートを、シリアル・ポートとして使用できる変換器をご紹介します。

品番： USB-RSAQ2 アイ・オー・データ社

USBポートにこのケーブルを差し、「新しいハードウェア」の検出に対してドライバをインストールするGetCom1～Com10の間の空いているポートに仮想Comポートが割り当てられます。

割り当てられたポートは、デバイスマネージャ（種類別に表示）のUSB-RSAQ2の項に表示されます。

以上は、EIBRWが対応しているピンディスプレイ、ブレイル・ノート、ブレイル・メモを製造・販売しておられる、株式会社KGS社にお尋ねしたものです。

以上お問い合わせは、

E-MAIL: takeshi-okada@h2.dion.ne.jp

本会の活動にご意見・ご質問等がございましたらホームページの掲示板までお願いします。お待ちしております。

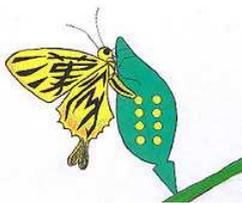
<http://ukanokai-hp.hp.infoseek.co.jp/>

【訂正とお詫び】

前号十五頁「漢文のページ」
下段を

誤↓不レ	同☒☒	正↓不レ	同☒☒
誤↓不レ	和☒☒	正↓不レ	和☒☒

に訂正し、お詫び致します。



漢文のページ

雑詩 王維

君自^ニリ 故郷 來^ルタル
 應^ニ 知^ル 故郷ノ 事^ラ
 來^シ 日 綺窓ノ 前
 寒梅 著^ケケンヤ 花ヲ 未^ダシヤ

君故郷自^リ來^タる／応^ニに故郷の事を知るべし／

來^リ日^{ツキ}綺窓^ノの前／寒梅花を著^ケんや未^ダしや

あなたは故郷からおいでになった。きっと故郷の様子などをご存じでしょう。あなたが出発なさった日に、あや絹を張った（私の妻の部屋（の）窓のあたりでは、寒梅は花を咲かせていたでしょうか、まだだったでしょうか。（梅の花にことよせて、故郷の様子、ことに妻の安否を気遣っている。）

尋^ニ胡隱^ノ君^ヲ

高啓

渡^リ 水ヲ 復^タ 渡^リ 水ヲ
 看^レ 花ヲ 還^タ 看^ル 花ヲ
 春風 江上ノ 路
 不^レ 覺^エ 到^ル 君^ガ 家^ニ

水を渡り復^タた水を渡り／花を看^ミ還^タた花を看^ルる／

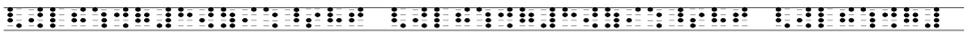
春^ノ風江上^ノの路／覺^エず君が家に到^ル

小川をあちらこちと幾たびか渡り、あちらこちらと（桃やすももの）花を眺める。春風の吹く川のほとりを歩いていくうちに、知らぬ間にあなたの家にたどりついてしまった。

胡隱君 胡は姓。「隱君」は隱者に同じ、俗世間と交際を絶^ツつてひっそりと暮らす人。

※王維（おうい）は盛唐の詩人で、南画の祖、書にもすぐれる。高啓（こうけい）は明代第一の詩人とされた。

※遠藤哲夫著「語法詳解漢詩」（旺文社）を参考にさせていただきました。



雑詩

王維

君 自リ 故 郷 來タル



シ應ニ 知ル 故 郷



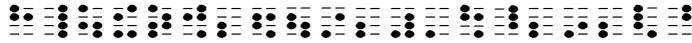
ノ 事ヲ



來 日綺 窓ノ 前



寒 梅 著ケシヤ 花ヲ 未



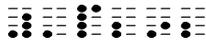
ダシヤ



渡リ 水ヲ 復タ 渡リ



水ヲ



看 花ヲ 還タ 看ル



花ヲ



春 風 江 上ノ 路



不 覺エ 到ル 君



ガ 家ニ



漢点字ってどんな字？ 34

つくりになる漢点字 〈傍側基本文字〉 (2)

おねえさん 前回から、漢点字の新しいところに入ったわね？ 復習とまとめをしておきましょうか。

ね？ 復習とまとめをしておきましょうか。

未来 〈傍側基本文字〉ね！

志朗 主に傍になるんだね。

川上先生、随分難しい名前を付けたよね。

傍側基本文字の特徴

① 主に形声文字の傍になる

志 部首の一つだね。

離、井、尹、及、亥、勿

未 一つの傍にもなるし

雀

旁の一部になったり

上にあつたり

下にあつたり

大活躍だわ。



志 しかも漢字の音を表す音

符号になることが多いね。

② ニマスの漢点字で、一マス目に4・5・6の点のどれかが付く

未 第二基本文字はニマス目に1・2・3の点のどれかだったわね。

志 そうなんだ、これまでの偏や冠

になる部首と反対の配置になっているんだ。

離



井



尹



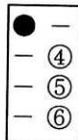
③ 「離」の漢点字符号が「隹」をあらわすように、ある漢字の構成のうち、その符号が代表的な部首を表すことがある

これは「家」がうかんむり、「草」がくさかんむりを表したのと同じね。

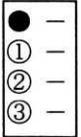
未 「草」がくさかんむりを表したのと同じね。

志 漢点字の特徴の一つでもあるね。

志 漢点字の特徴の一つでもあるね。



④ 近似文字は、1・2・3の点のどれかが付く



未 近似文字もこれまでと配置が反対ね。井は5の点にイ(●●●)で、近似文字の韋は、2の点にイ。

志 比較文字の近似文字も、1・2・3の点のどれかが付くよ。大の近似文字の天・太・夫を見て。

未 そうね、漢数字の九の近似文字の丸にも1の点が付くわね。

韋 ●●● ← 井 ●●● 乃 ●●● ← 及 ●●●	傍側基本文字
天 ●●● ← 大 ●●● 太 ●●● ← 夫 ●●● ←	比較文字
丸 ●●● ← 九 ●●●	漢数字

お 旁になる部首は沢山あって、名前が付いてないものもあるのよ。少しづつ整理してみましよう。

彭



ホウ ボウ
ふく、らむ ふく、れる

未 膨の右側の字ね。膨らんでパンパンに張っているようすよ。

膨



ボウ
ふく、れる



肉 + 膨
●●● + ●●●

未 膨は体がふくらむことを意味する字よ。肉月だけど、ラ下がり(●●●)ではなくて、ラ(●●●)なのね。

志 ●●●は月だけでなく、肉月にも使われるんだ。ラ下がりだと腕と同じになるからね。

宛



エン オン あ、てる
ま、がる あたかも ずつ

未 宛名のアテ。肉月を付けて腕ね。

腕



ワン
うで



肉 + 腕
●●● + ●●●

碗

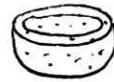
ワン



木 + 宛

碗

ワン



石 + 宛

未 木製のおわんと石製のおわんね。

志 真ん中が凹んでいることを表しているんだ。

儿

ニン
ジン
ひと

未 ひと、人と同じ意味だそうよ。

志 人のアシの形だね。下に付いてヒトアシになるんだ。

見

見

兄

兄

介

介

界

界



亢

コウ
たか、い
のど

未 なべぶたの下に机の旁ね。これで一つの部首なのね。

志 まっすぐに立っている様子で、たかいとか、たかぶるの意味もあるよ。

坑

坑

コウ

土 + 亢

志 炭坑のコウ、穴の意味だ。

抗

抗

コウ

あ、たる あ、げる さから、う

杭

杭

コウ

くい わた、る

未 抗は抵抗とか抗生物質の抗。

志 杭は、木の棒をまっすぐに打ち込むからこんな字になったのかな。

未 航は、航海とか航空機のコウね。



兌

二二
一一

ダ ダイ タイ
あな (ぬけでゝる)

志 兄の上にちよんちよんの形だね。

未 兌換紙幣の兌(ダ)ね。

志 兌は悦や脱のもの字で、よろこぶとかぬぐの意味もあるんだって。

説

二二
一一

セツ
とく
よろこぶ

兌 二二
一一
言 二二

未 小説、説明…、
考えて言葉にすることね。

お よろこぶと読むこともあるのね？

志 学びて時にこれを習う、
また説(よろこ)ばしからずや。



学而時習之
亦不説乎

悦

二二
一一

エツ
よろこぶ

志 心でよろこぶんだね。

閱

二二
一一

エツ
けみする

未 けみする？

志 しげしげとよく見る、ということだよ。
閲覽、閲読、検閲、校閲。



兌 二二
一一
門 二二

兌 二二
一一
立心偏 二二

脱

二二
一一

ダツ
ぬぐ

未 脱衣、脱皮、脱稿。
ぬぐといつてもいろいろあるのね。

志 脱出、脱税…ぬけだすや、のがれる
の意味にもなるね。



兌 二二
一一
肉 二二

税

二二
一一

ゼイ
とく
ぬぐ
みつぎ

兌 二二
一一
禾 二二

未 税は「禾(作物) + 兌」で、収穫の
一部をぬきとること。なるほど。

凡

ボ
ン
ハ
ン

およそ

未 平凡、凡人。

志 普通とかおしなべてとかの意味、この字は、普通に使われるね。

帆

ハ
ン

ほ

凡
ハ
ン
十
巾

志 帆掛け船のホダ。

未 大きな布を広げた形なんだわ。凡は、大きく広げるの意味があるんだって。



汎

ハ
ン

ただよ
う
あまねし

未 水の上に広がる形、それとも水が広がる形。

志 両方だね。全体という意味と、フワフワただよという意味もあるんだよ。

未 汎神論は全てのものに神様が宿っているということね。汎舟は、舟を水に浮かべること。

志 現在では、コンピュータ用語で、多くの環境に対応しているハードやソフトを指して、汎用性がある、というようになっただね。

梵

ボ
ン

ボ
ン



凡
ハ
ン
／
林

志 仏教に使われる字だ。梵鐘、梵僧、梵天。

凡
ハ
ン
十
水



舜

シユン

シユン

志 古代の伝説上の王様の名前だ。

未 それに花の名前、ムクゲの意味もあるんだって。



瞬

シユン

またたく

目 + 舜

几

キ

いく (つくえ)

未 これこそ机の旁ね。四脚の四角い

台の形で、机のもとの字よ。

机

キ

つくえ

飢

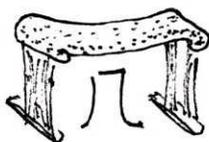
キ

うゝえる

肌

キ

はだ



〈今日の近似文字〉

ル

元

ガ

ン

もと

ゲン

志 元はルの近似文字。

二の下にル(ひとあし)だね。



未 この字が部首になる字もあるわ。

完

カン

まっとうする

完

志 完が部首になる字もあるよ。

院

イン

かき

こざと

完

お こうして、

漢字は

どんどん 増えていくのね。



(作・岡田 絵・吉田)

〈前回の訂正とお詫び〉

一九ページ「級」：「さら」は「しな」に訂正して下さい。他に「くび」(討ち取った首の意)の訓もあります。



銀の鈴 金の鈴 ふり天上に



千の小鳥は春の歌うたう



九条武子



二月に入ると急に光の量が増すように思います。鳥たちは春の訪れを気温ではなく光によって知るのだそうです。早朝、まだ眠りの中に人々がいる頃、もう鳥たちは鳴き始めます。小さな体全体で鳴くその声は、春を告げる鈴のようだと作者は促えたのです。

金の鈴、銀の鈴ではなくて、銀の鈴金の鈴という並べ方にも一首の工夫があります。実際に千羽の小鳥の声ではなくても、歌の世界では少し大袈裟に言うことがあります。千という数字は非常に沢山のということなのです。千の小鳥が春の歌をうたうのは、もうすぐですね。

麦のくき 口にふくみて 吹きをれば



ふと鳴りいでし 心うれしき



窪田空穂



子供の頃には、誰でも木の葉や草を吹いて鳴らした思い出があるのではないのでしょうか。最近では麦畑を見ることも少なくなりましたが、作者は何気なく手折った麦の茎を吹いてみたのでしょうか。思いがけず澄んだ音をたてて鳴ったのです。「あつ鳴った」と思った一瞬が読者に伝わる一首です。素直すぎるような表現で、心うれしさと詠んでいます。のどかな春の道だったのでしょ。

編集後記 三寒四温と言いますが、寒さと暖かさの繰り返しで流石に体がうまく適合せず、少々風邪気味です。(もう若くないとのシグナル?) 今猛威を振るっているインフルエンザではないのが幸いです。

周りに一週間ダウン「苦しかった・・・!」という人が沢山います。皆様も体調にはくれぐれもお気をつけください。

表紙絵 岡 稲子

※本誌(活字版・テープ版・ディスク版)の無断転載はかたくお断りします。

今回の発行は平成15年4月15日です。宇田川 幸子